

●店外キャッシュサービスコーナー

平成22年5月31日現在

立川	フロム中武前	東久留米	QURUNE東久留米店内	国立	国立市役所内	昭島	昭島市役所内
	高島屋立川店内		国分寺駅北口	国立	国立旭通り		いなげや昭島中神店向かい
	立川市役所内	国分寺	国分寺市役所内		さえぎ国立店前		昭島駅北口前
	いなげや幸店前		イトーヨーカドー恋ヶ窪店内	東大和	イトーヨーカドー東大和店内	昭島	イオン昭島ショッピングセンター内
	いなげや立川栄町店前		ブリヂストン小川東町		BIGBOX東大和店内		エコス拝島店前
	マルエツ武蔵砂川店前	小平	いなげや小平学園西町店前	武蔵村山	ヤマダ電機武蔵村山店前		イトーヨーカドー拝島店内
	京王ストア立川店前		西武国分寺線小川駅前		ダイエー武蔵村山店内		拝島駅構内
	多摩モノレール立川南駅前	東村山	いなげや東村山市役所前店内	日野	スーパーアルプス日野店前	瑞穂	ジョイフル本田瑞穂店内
	伊勢丹立川店前		ヤマダ電機府中店前		イトーヨーカドー八王子店内	羽村	いなげや羽村富士見平店前
	若葉ケヤキモール内		京王ストア栄町店前		スーパーアルプス宇津木台店前	あきる野	いなげやあきる野雨間店前
立川北口	府中	府中駅南口くるる内		京王八王子駅前		あきる野市役所内	
武蔵野		いなげや武蔵野関前店内	八王子	暁町1丁目バス停前	日の出	イオンモール日の出内	
三鷹		コモディイイダ三鷹店向かい		京王山田駅前			
		Jマート三鷹店内		西八王子駅構内			
小金井		小金井北大通り	国立	オリンピック国立店前			
				ぐりーんうおーく多摩内			

●たましんすまいるプラザ

店舗	営業時間	休業日	電話
たましんすまいるプラザ国立 (国立支店2階・3階)	平日:午前9時～午後7時 土・日:午前11時～午後5時	祝日:12/31～1/3	0120-789-440
たましんすまいるプラザ武蔵村山 (イオンモールむし村山1階 ノースコート東入口側)	コンサルティングブース クイックサービス窓口 午前10時～午後7時 午前10時～午後3時	12/31～1/3 土・日・祝:12/31～1/3	0120-562-531
たましんすまいるプラザ立川 (立川駅ビル ルミネ立川地下1階)	コンサルティングブース クイックサービス窓口 午前10時～午後7時 午前10時～午後6時	12/31～1/3・ルミネ立川休業日 土・日・祝:12/31～1/3・ルミネ立川休業日	0120-667-646
たましんすまいるプラザ吉祥寺 (吉祥寺支店2階)	平日:午前9時～午後7時 土・日:午前10時～午後5時	祝日:12/31～1/3	0120-771-313
たましんすまいるプラザめじろ台 (めじろ台支店2階)	平日:午前9時～午後7時 土・日:午前11時～午後5時	祝日:12/31～1/3	0120-778-480
たましんすまいるセンター (多摩信用金庫本店駐車場となり)	午前9時～午後5時	土・日・祝:12/31～1/3	0120-778-289

●その他の施設

店舗	営業時間	休業日	電話
たましんワールドキャッシュセンター (立川駅ビル ルミネ立川9階バスポートセンター前)	午前10時～午後6時 ※3月・9月・12月の最終営業日は午後4時まで	土・日・祝:12/31～1/3・ルミネ立川休業日	042-523-0057
インキュベーション施設 ブルームセンター (創業支援施設・京王八王子支店7階)	4階事務局 7階専有スペース 午前10時～午後6時 入居者24時間利用可能	土・日・祝:12/29～1/3 入居者365日利用可能	042-639-1009
たましん事業支援センター(Winセンター) (多摩信用金庫本店駐車場となり)	午前9時～午後5時	土・日・祝:12/31～1/3	0120-778-265

たましんレポート2010
【第77期 業務のご報告】
多摩信用金庫
〒190-8681 東京都立川市曙町2丁目8番28号
TEL:(042)526-1111(大代表)
http://www.tamashin.jp



本誌に関するお問い合わせは

お客さま照会センター
フリーダイヤル:0120-187-329

たましんホームページや店頭設置の用紙でも本誌
やたましんに関するご意見を承っております。

※RISURUはたましんのイメージキャラクターです。

©2003,2010 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL NO. G510366



この印刷物は、NPO法人
カラーユニバーサルデザイン
機構により色覚の個人
差を問わず、多くの方に見
やすく配慮されたデザイン
(カラーユニバーサルデザ
イン)として認定されました。



お客さまの幸せづくり
たましん

発行:平成22年6月

TAMASHIN

REPORT

たましんレポート2010

「お客さまの声」を地域の未来に活かしていく。



2



1



第77期 業務のご報告

【平成21年4月1日～平成22年3月31日】

多摩信用金庫

◆ 目次

理事長からのごあいさつ	1
地域金融機関としての役割	2
地域とたましん	
企業へのお手伝い	4
個人の皆さまへの支援	6
地域社会への取り組み	8
業績ハイライト	
預金・年金振込・預かり資産	10
貸出金・事業所融資先数	11
貸出金業種内訳・有価証券	12
不良債権	13
自己資本比率	14
貸借対照表	16
損益計算書・剰余金処分	17
たましんのコンプライアンスの考え方	18
たましんプロフィール・役員一覧 連結される子会社	20
店舗ネットワーク	21

経営理念

たましんは、お客さまの幸せを創造する企業
たましんの仕事は、お客さまの幸せづくり

基本方針

わが信用金庫は社会的公器として、協同組織による地域金融機関たる精神に徹し、

1. 役職員一致の体制を整え
2. 信義誠実、明朗堅実にして信頼に富む職場を築き
3. 業容の増大、質の向上を図って金融の疎通につとめ

以て地元の繁栄とわが国経済の振興に寄与することを念願する。

多摩信用金庫企業倫理

1. 社会的公器の自覚と信頼の確立
たましんの基本方針にのっとり、その公共的役割を自覚し、経営の自己責任に基づく健全経営に徹することにより、会員、お客さま、地域社会の信頼を確立していきます。
2. お客さま第一主義の実践と地域社会への貢献
たましんの経営理念を追求し、あらゆる業務を通じて、お客さまへ質の高い最良のサービスを提供することを常に目指すとともに、地域社会の発展に貢献していきます。
3. 法令やルールの厳格な遵守
たましんは、法令やルールおよびその精神を遵守し、社会的規範に背くことのないよう、常に誠実かつ公正な企業運営を行っていきます。
4. 反社会的勢力の排除
たましんは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力を、断固たる姿勢で排除していきます。
5. 経営情報の公開と地域社会との調和
たましんは、経営情報の積極的かつ公正な開示をはじめとして、広く地域社会とのコミュニケーションを深め、調和を図っていきます。

コンプライアンス宣言

当金庫は、お客さまや社会の信頼にお応えするため、信用金庫のもつ社会的責任と公共的使命を常に自覚し、高い見識と倫理観をもち、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つとして企業活動を遂行してまいります。コンプライアンスを礎となす風土を確立するため、役職員総意の下に「コンプライアンス宣言」を策定し、遵守することを宣言いたします。

・本誌では、原則として単位未満(構成比等の比率については表示した数値未満)を切り捨てのうえ表示しています。従って項目ごとを合計した場合、合計を表示している欄等との数値が一致しない場合があります。
・3月末時点の計数については「〇年3月末」、期間中の計数については「〇年度」として項目表示しています。また、財務諸表においては、時点・期間を表示しております。

理事長からのごあいさつ

◆ ごあいさつ

未来を見据えたサポートで、
〈ふるさと多摩〉の可能性を広げたい。



理事長 佐藤 浩二

いつも〈たましん〉をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。今年も、1年の活動をご報告する「たましんレポート」ができあがりました。皆さまからいただく率直なご意見をこれからの活動に活かしてまいります。

一昨年の世界的金融危機による急激な景気低迷に迅速に対処することが、平成21年度の私たちの優先事項であり、お客さまと危機感を共有しながら、課題解決に取り組んでまいりました。おかげさまで、平成21年度も〈たましん〉は預金積金残高を増加させ、業務純益・当期利益を確保できました。ただし、課題解決活動を全力で行いましたが貸出金残高は減少しており、まだまだ力不足と反省しております。

私たちは、地域の皆さまの課題解決のインフラとなるために、金融サポートはもちろん、地域の経済・行政・生活・文化などあらゆる分野で貢献していかなければならないと考えています。

蓄積したノウハウと行動力で、あらゆる課題に応える

平成21年度の活動の成果として、様々なネットワークの構築により外部の専門力につなげていく体制や支援ノウハウが蓄積され、平成22年度は大学や高専とコンソーシアムを組成し「中小企業応援センター事業」を受託しました。専門家や支援機関と連携し、財務面に加え事業発展や存続につながるあらゆる方面からのサポートを行ってまいります。地域への活動についても、NPOとの連携や商店街

振興への取り組みを通じて、新たな仕組みが整ってきました。また、「すまいるプラザ」など個人のお客さまの悩みにじっくり応える拠点も増やすべく活動しております。

多様化・専門化する課題への解決量を増やすためには、何より「行動力」を上げることが求められます。積極的に、より多くのお客さまの悩みをうかがい、危機感を共有しなければ、厳しい環境下で努力を続ける企業の発展や個人のくらしの安心はサポートできません。平成22年度は、この「行動力」を重んじながら、スピード感ある対応を目指してまいります。

多摩地域の未来をお客さまとともに

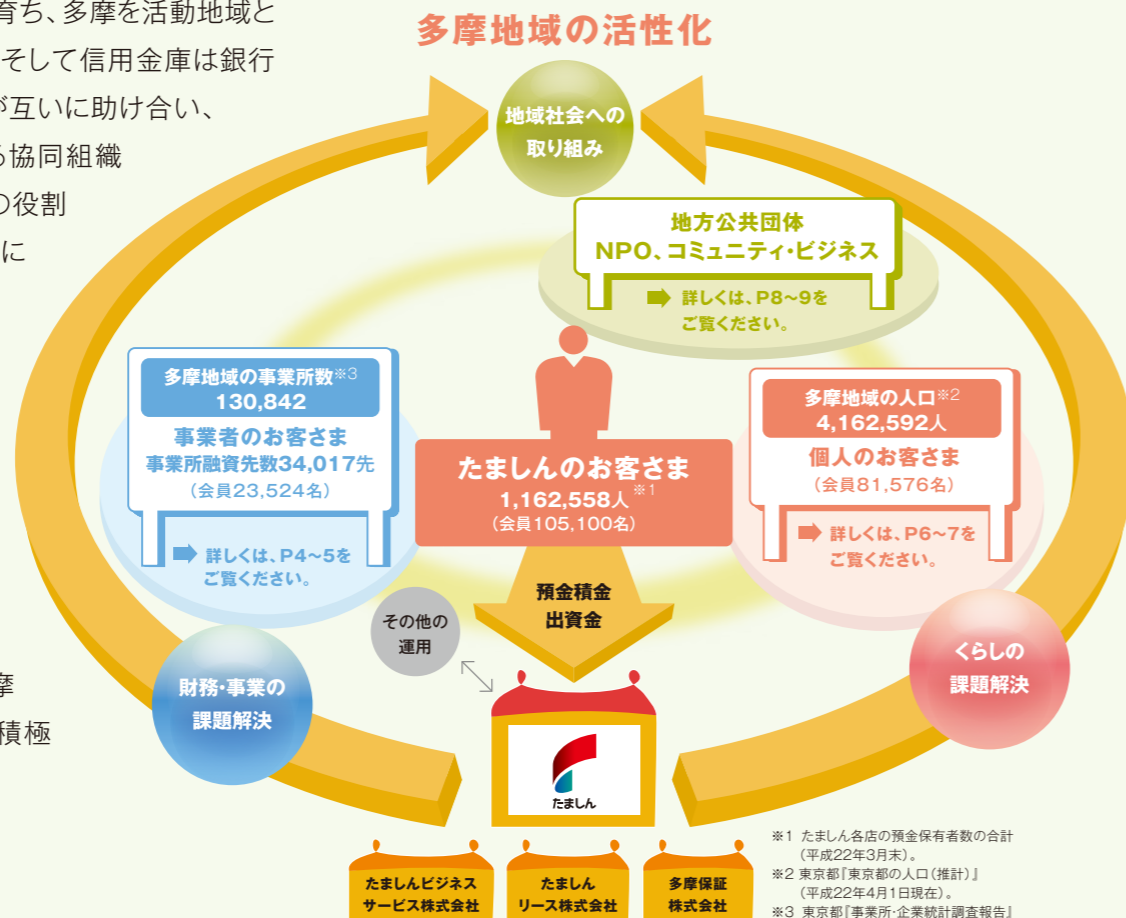
豊かな風土に410万人を越す人々が暮らし、先端企業も多い多摩は、様々な事業展開のポテンシャルを秘めています。私たちは、この地で仕事ができる幸せを感じながら、地域の皆さまと共に〈ふるさと多摩〉の可能性を広げていきたい。それには、状況が厳しいときにこそ、現在の努力が未来へどうつながるかを見据えたサポートが必要だと考えます。〈たましん〉はそれを実践し、さらなる地域繁栄のための活動を続けてまいります。今後ともより一層のご協力をいただきますよう、心からお願い申し上げます。

◆多摩地域の活性化・お客さまの声を活かすしくみ

たましんはお客さまと、〈ふるさと多摩〉の 未来を創っていきます。

多摩地域で生まれた金融機関だからこそ、できることがあります。

たましんは多摩で生まれ育ち、多摩を活動地域とする地域金融機関です。そして信用金庫は銀行と異なり、地域の皆さまが互いに助け合い、支え合うために存在する協同組織金融機関です。たましんの役割は、地域の皆さまとともに私たちのふるさと多摩を未来にわたって成長・繁栄させていくこと。そのため、金融サービスはもちろん経済・文化・生活などあらゆる角度から、多摩で活動される企業、多摩で生活し働く個人の皆さま、多摩の地域社会を、総合的・積極的にサポートしています。



※1 たましん各店の預金保有者数の合計(平成22年3月末)。
※2 東京都「東京都の人口(推計)」(平成22年4月1日現在)。
※3 東京都「事業所・企業統計調査報告」(平成18年10月1日現在)。
注: 会員数・事業所融資先数は平成22年3月末現在。

地域経済の活性化や文化の向上にも幅広く取り組んでいます。

●たましん法人総合サービス BOB

事業を営む法人の方の、経営・営業・総務・人事など多方面にわたる悩みにお応えするサービスです。



●たましん地域経済研究所

多摩の景況調査や各種経済データの収集・公開を行っています。これらのデータを掲載した季刊の情報誌「多摩けいざい」はたましんホームページでもご覧いただけます。



●多摩らいふ倶楽部

多摩地域で暮らす方に、充実した毎日をお送りいただくお手伝いを行う会員組織。「健康」「学ぶ」「遊ぶ」「地域」をキーワードとしたプログラムや、地域情報誌「多摩ら・び」を企画しています。



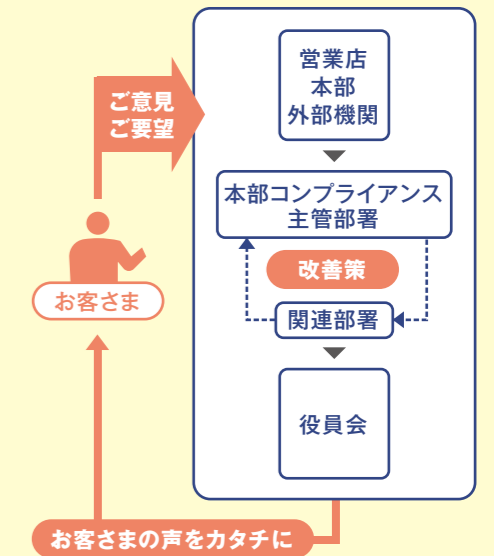
●財団法人たましん地域文化財団

多摩の芸術家支援や地域の歴史・文化関係の資料の保存・公開を行う、たましんの文化活動拠点です。「たましん歴史・美術館」「御岳美術館」「たましんギャラリー」の運営や季刊誌「多摩のあゆみ」等を発行しています。



●お客さまの声を活かすしくみ

たましんにとって、店舗の窓口やお客さま担当者が日々接するお客さまの声こそが活動指針です。お客さまによりご満足していただける金融機関をめざして、たましんではこうしたお客さまの声を業務やサービスの充実に役立てています。



営業店・本部・外部機関でお受けしたお客さまの声をコンプライアンスの主管部署が関係部署と協議し、問題点の解決に努めています。

企業
+

◆企業へのお手伝い

地域
社会

個人

力強いパートナーとして企業・

事業所の成長と繁栄をお手伝いします。



Pick
Up!

ネットワークを活かした支援 (Winセンターの開設)

平成21年4月20日に開設した「たましん事業支援センター(愛称:Winセンター)」はセミナーの開催、相談窓口の設置、専門家による無料相談会の実施だけでなく、会員企業の方々が利用できるラウンジも設置し、10,434名の方にご利用いただきました。

企業の抱える課題は、金融面だけでなく経営・営業・人材など多岐にわたります。こうしたお客さまの様々な悩みにお応えするため「多摩地域 地域力連携拠点事業(経済産業省受託事業)」でネットワークを活かし、新連携事業・農商工連携事業等のコーディネートやM&A、事業承継計画の策定などを行いました。平成22年度は、電気通信大学、東京工業高等専門学校とコンソーシアムを組成し、経済産業省より「中小企業応援センター事業」を受託しました。



Winセンター ラウンジ

次世代への伝承・育成

新たなビジネスモデルの創出から実現可能な経営計画・資金計画まで、中小企業の「真の発展」に貢献できる「知恵」と「ソリューション」を提供する、後継者育成塾「TAMA NEXTリーダープログラム2009」を一橋大学との共催により開催しました。このプログラムは、後継者に必要なマインドと知識および実践力を体系的に身につけてもらい、多摩地域の次世代ビジネスリーダーを育成することを目的としています。また、産学連携協力関係にある国立東京工業高等専門学校とともに、中小製造業技術者の技術力・実践力を向上することを目的とした、モノづくりの実践力を伝授する技術講座「匠塾」を実施しました。

多摩地域を中心に働きたい人を応援するため「就職応援フェスタ IN 多摩」の開催に協力いたしました。



匠塾 開講式

販路拡大など様々な課題への支援

地域の物産や地域の中小企業が輸入した商品の販路拡大への支援のため、平成21年7月6日～7月7日青梅信用金庫と共催で「多摩の物産&輸入品商談会'09」を実施し2,500名の方にご来場いただきました。平成22年2月



物産展

19日～2月20日の自治体等との共催による「たま工業交流展」では、約1万人の方の来場をいただきました。また平成22年3月25日公的機関等による各種相談を一カ所で受けられる中小企業庁、関東経済産業局等の主催による中小企業支援策「ワンストップ・サービス・デイ」を、多摩地域では初めて開催しました。

中小企業の活性化支援

地域事業者の優れた技術やビジネスモデルの顕彰制度、第7回「多摩ブルー・グリーン賞」は140件の応募をいただき、最優秀賞に武陽ガス株式会社(多摩ブルー賞)と特定非営利活動法人あい(多摩グリーン賞)、他に優秀賞10件の受賞者を決定し、平成21年12月16日に表彰式を行いました。



記念撮影に臨む受賞者

(累計応募総数:968件 最優秀賞:14件 優秀賞:64件)

個人
+

◆個人の皆さまへの支援

企業

地域
社会

身近なサポーターとして個人の皆さまの豊かな生活を支えます。



Pick
Up!

「くらし、住まい、健康、お金のこと」じっくり相談 (すまいるセンター開設)

平成21年4月20日に、個人のお客さまの課題解決拠点「たましんすまいるセンター」を開設しました。様々な課題の中でも「保険」「健康」については『保険なっ得館』『健康ステーション』のサブネームのもと、保険のコンサルティングや常駐看護師による健康相談のほか、定期的に 医師による相談会も行っております。また、平成21年4月にはより幅広い個人のお客さまへの課題解決のため、コンサルティング特化店舗として、5店舗目の「すまいるプラザめじろ台」を京王線めじろ台駅前にオープンしました。



すまいるセンター ラウンジ

健康支援

- 平成21年11月13日に兵庫県立粒子線医療センター院長の菱川良夫氏による「闘わないがん治療 粒子線治療」、平成22年3月7日には蓮見賢一郎氏による「がんとワクチン」と題し、「免疫療法の最先端」と「がん予防から再発治療まで」についての健康セミナーを行いました。



セミナーの様子

- 多摩らいふ倶楽部では、人間ドックの提携病院を追加し、健康に関する支援を充実させました。また、24時間365日電話で医師、看護師のカウンセリングが無料で受けられる「健康相談」や「多摩らいふ倶楽部健康日記」により健康づくりの取り組みを行いました。

- すまいるプラザにおいて「乳がん経験者専用ガン保険」および、「自由診療ガン保険」の取扱いを開始しました。

- 「多摩コミュニティカップアマチュアゴルフトーナメント'09」(多摩カップ)は、約2,200名の方にご参加いただきました。また「JALホノルルマラソン」に向けてマラソントレーニングチーム「多摩aina(アイナ)」を立ち上げました。



前夜祭での杉本プロ

未来を担う世代への支援

- 子育て支援の一環として、日本女子体育大学と連携して「夏休み親子自然体験'09ひのほら」を実施した他、夏休



科学の祭典

- み体験企画「東京高専 de サイエンスフェスタ2009」「2009青少年のための科学の祭典 東京大会In小金井」などの協働事業を行いました。

- 買い物、ゲームなど身近な生活を通じて、金融知識を身につける小学生向け「金融教育」を行いました。

- 平成21年5月より、都内の信用金庫では初めてお子さまの将来の教育資金を主な目的とする「学資保険」の取扱いを開始いたしました。また、住宅ローンにおいて教育費の負担の多いご家庭を応援する「くらしサポート」、入学金、授業料などの学校納付金にお使いになれる教育ローン「キャンパス」など金融面での支援を充実しました。

地域の持続的な成長と発展を

Pick
Up!

地域の振興のために

高齢化・少子化・販売チャネルの多様化など、商店街を取り巻く環境は大きく変化しております。社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩および信金中央金庫とともに、福生市をより魅力にあふれた街にするための「福生市商店街振興基本調査」に協力し、平成21年12月には「基本調査報告会」が開催されました。現在行われている具体的な取り組みについても引き続き支援してまいります。

また、高齢者・障害者福祉・子育て、食育と農業・シニアの職・まちづくりなどの様々な課題を「コミュニティビジネス(CB)」により解決していこうという動きが活発になっております。多摩CBネットワークや各市町村とともに、各地域で行われる勉強会や連続講座、シンポジウム等を通じてネットワーク・活動のきっかけづくりのご支援をしております。

※「コミュニティビジネス(CB)」とは、地域の課題を住民やNPO、企業等がビジネスの手法を用いて解決する取り組みをいいます。



福生市商店街振興基本調査の様子

支え続けます。

もっと便利に

- 東京都信用金庫協会の「営業の一部譲渡・譲受制度」を活用し、城北信用金庫小金井支店の営業を譲受け、平成22年3月23日に多摩信用金庫小金井南口支店としてオープンいたしました。

また、お買い物の際にご利用いただけるよう、5箇所



オープンの様子

のATMコーナーを新設しました。
・いなげや武蔵野関前店内 ・いなげや府中浅間町店内
・イトーヨーカドー恋ヶ窪店内 ・BIGBOX東大和店内
・QURUNE東久留米店内

平成21年5月には、店舗施設内の緊急時の救命活動の一助とするため、全店にAED(自動体外式除細動器)を設置しました。

- JR東日本ATMコーナー「VIEW ALTTE」との提携を信用金庫として初めて行い、キャッシュカードによるお引き出しと残高照会の取扱いを開始しました。「駅たましん」としてご好評をいただき、平成21年10月の提携利用開始から平成22年3月末までの取扱い件数は21,047件でした。



主要駅に設置されているVIEW ALTTE

地域の活動、環境に協力

- 「八王子まつり」・「立川よいと祭り」・「羽衣ねぶた祭り」・「小金井阿波おどり」・「ふちゆうテクノフェア」など、地域文化や産業振興にも参加・協力いたしました。

- 〈ふるさと多摩〉の魅力を再発見するご当地検定「多摩・武蔵野検定」に、企画・検定委員・実行委員の職員派遣などで協力しました。

- 平成22年2月17日、アミュー立川で野口悠紀雄氏(早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授)による「日本経済のゆくえ」と題した新春講演会を行い、619名の方が参加されました。



講演会の様子

- 平成21年10月、鮮度の高い情報をタイムリーに提供することで、地域の皆さまのビジネスや暮らしのお役にたてるよう「たましんメールマガジン」による情報のお届けを開始いたしました。

- 「多摩らいふ倶楽部」地域貢献プログラムとして平成21年度は八王子市、宇津貫緑地里山保全協議会との協働により、里山の保全活動への寄付を行うとともに、一般の方も参加できるイベントを行いました。



里山保全活動の様子

また、平成21年6月にエコカーに対応したマイカーローン「アクセル・デュオ」の取扱いを開始し、環境設備の多様化や長期優良住宅に対応するため住宅ローン「環境サポート」を変更しました。

◆預金・年金振込・預かり資産

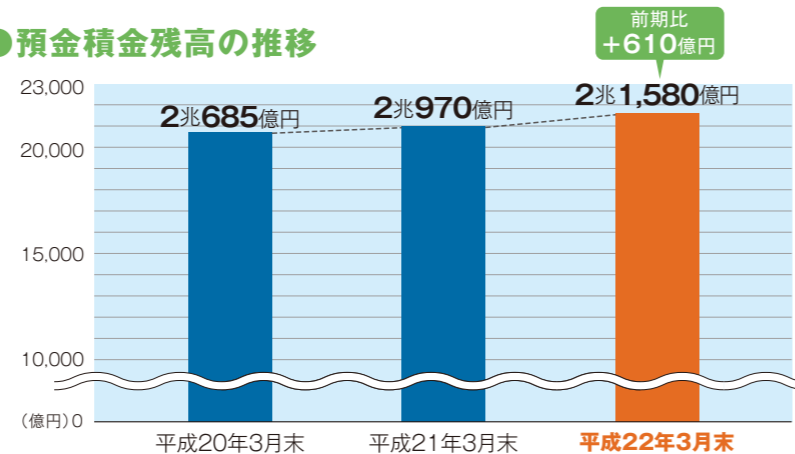
◆貸出金・事業所融資先数

預金・年金振込は増加しました。

預金積金残高は、**610億円増加**しました。

預金積金残高は、地域の皆さまからのご支持をいただいたことにより、前期より610億円増加し2兆1,580億円となりました。個人のお客さまを中心に流動性・定期性ともに伸びています。

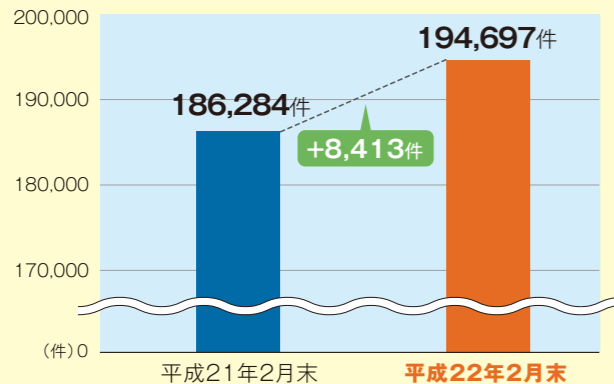
●預金積金残高の推移



今期のポイント

●年金振込件数の比較

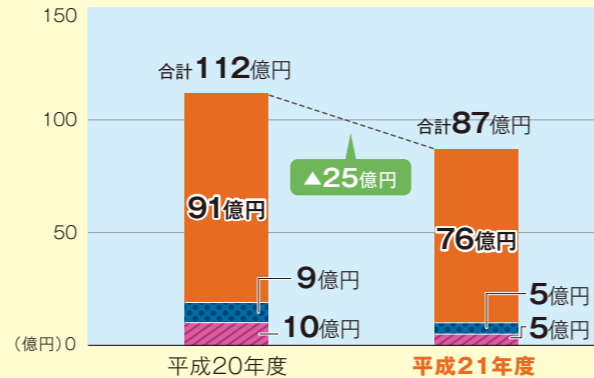
年金振込件数は、前年同月比で8,413件増加しました。お客さまから、変わらぬご信頼・ご支持をいただいています。



※基金を除く振込実績。

●預かり資産取扱額の比較

預かり資産のお取扱い額は減少しました。ご提案にあたっては、金融商品取引法などの法令等を遵守し、お客さまの状況にあわせて的確にご説明しております。



■個人向け国債 ■投資信託 ■個人年金保険+一時払終身保険
※外貨建て商品は、払込日のTTMLレートで円貨換算して算出しております。

※単位未満切り捨て表示のため、合計が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

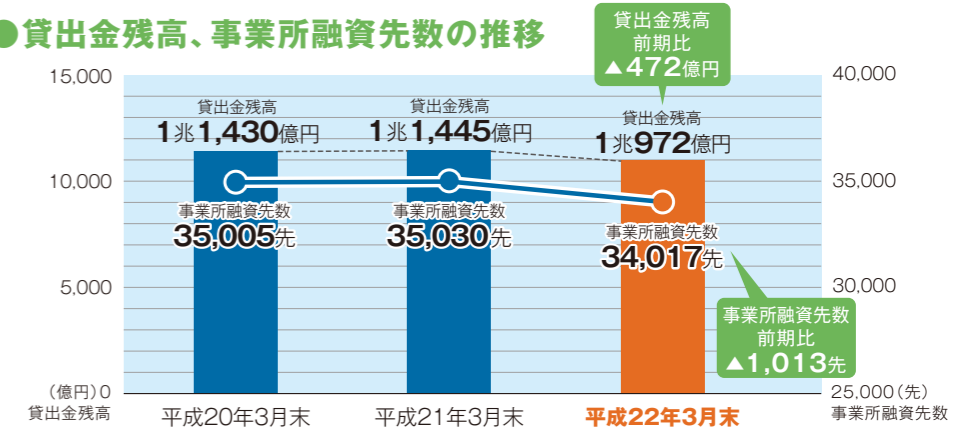
貸出金・融資先数は減少しました。

貸出金残高は**472億円減少**し、**事業所融資先数は1,013先**の減少となりました。

平成22年3月末の貸出金残高は、景気の低迷による資金需要の減退などにより472億円減少し、1兆972億円となりました。事業性のご融資は374億円減少し、個人のお客さまのご融資は98億円の減少となりました。お客さまの悩みや課題により多く応えられるよう、つとめてまいります。

事業所融資先数は、平成22年3月末は34,017先となりました。地域企業の課題解決のため、さらに行動力を増して取り組んでまいります。

●貸出金残高、事業所融資先数の推移



※単位未満切り捨て表示のため、前年比が表示数値による算出値と一致しない場合があります。
※個人事業者向け消費者ローン・住宅ローン等の消費資金を含んでいます。
※平成22年3月末の事業所融資先数は、日本標準産業分類改定に伴う見直しによる166先の減少を含んでおります。

〈中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律への対応〉

たましんは法律の施行以前より、経営理念の具現化として、地域のお客さまの悩みや課題を共有し、お客さまとともに課題解決に取り組んでいます。企業・事業所のお客さまには、経営相談・事業支援および事業再生に取り組み、個人のお客さまにはライフサイクル、ライフプランに応じた総合的サポートを提供し、金融の円滑化を図ってまいりました。今後もお客さまの課題解決に取り組む、地域の発展に寄与するため、一層の金融の円滑化に向けて取り組んでまいります。

※「金融円滑化のための基本方針」・「金融円滑化を図るための方針の概要」・「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律第4条・第5条に基づく措置の実施状況」などについては、たましんホームページに掲載しております。

◆貸出金業種内訳・有価証券

ご融資や資金運用のリスク管理について。

たましんのご融資は、幅広く、小口多数

たましんは、特定業種や大口取引に偏らず、多くのお客さまに幅広くご融資するという「小口多数者利用」を原則としています。これは、お客さまに安心してお取引引きいただくためと、地域で事業を営む方や、地域で生活している方を支援するという信用金庫の存在意義に基づいています。

資金運用については、国内の債券を中心に堅実な運用を心がけています

金利リスクや信用リスクなどの各種リスクの管理を行ったうえで、国内の債券を中心に株式や外国証券等に分散投資したポートフォリオを構築することで、堅実な資金運用を心がけております。

平成22年3月末時点の評価益は、株式市場の上昇や中短期金利の低下、信用スプレッドの縮小等により有価証券全体で101億円となり、前年度末比118億円改善しました。

●貸出金業種内訳

(単位/百万円)

平成21年3月末残高			平成22年3月末残高			平成21年3月末残高			平成22年3月末残高		
業種区分	残高	構成比	業種区分	残高	構成比	業種区分	残高	構成比	業種区分	残高	構成比
製造業	130,282	11.3%	製造業	120,533	10.9%	不動産関連 地方公団等	3,320	0.2%	不動産関連 地方公団等	8,123	0.7%
農業	1,453	0.1%	農業、 林業	626	0.0%	各種 サービス	168,974	14.7%	物品賃貸業	2,952	0.2%
林業	25	0.0%	漁業	—	—				学術研究、専門・ 技術サービス業	14,322	1.3%
漁業	—	—	鉱業、採石業、 砂利採取業	340	0.0%				宿泊業	2,280	0.2%
鉱業	269	0.0%	建設業	109,596	9.9%				飲食業	25,587	2.3%
建設業	119,301	10.4%	電気・ガス・ 熱供給・水道業	331	0.0%				生活関連サービス 業、娯楽業	14,778	1.3%
電気・ガス・ 熱供給・水道業	359	0.0%	情報通信業	6,822	0.6%				教育、学習支援業	4,498	0.4%
情報通信業	3,652	0.3%	運輸業、郵便業	16,539	1.5%				医療・福祉	35,561	3.2%
運輸業	14,752	1.2%	卸売業、 小売業	99,773	9.0%				その他のサービス	45,307	4.1%
卸売業、 小売業	111,613	9.7%	金融業、保険業	4,513	0.4%				地方公共団体	20,189	1.8%
金融・保険業	4,326	0.3%	不動産賃貸・ 管理業	253,666	23.1%				(注2)個人	277,407	25.2%
不動産賃貸・ 管理業	42,562	3.7%	不動産流動化等を 目的とするSPC	1,980	0.1%	合計	1,144,511	100.0%	合計	1,097,224	100.0%

注1.日本標準産業分類第12回改定に伴い、平成21年6月にお客さまの業種区分の見直しを行いました。平成21年3月末残高は、見直し前の業種区分残高です。
注2.個人は、住宅資金・消費資金等の貸出をさし、個人に対する営業用資金の貸出を含みません。

●有価証券の時価等情報

その他保有目的の有価証券に係る取得原価(償却原価)、貸借対照表計上額及び差額は以下のとおりです。(単位/百万円)

	取得原価(償却原価)		貸借対照表計上額		差 額		うち益		うち損	
	平成21年3月末	平成22年3月末	平成21年3月末	平成22年3月末	平成21年3月末	平成22年3月末	平成21年3月末	平成22年3月末	平成21年3月末	平成22年3月末
その他保有有価証券	561,402	600,109	560,760	609,556	△ 641	9,446	3,217	10,791	3,859	1,344
株 式	9,569	10,974	7,524	11,217	△ 2,045	242	287	1,238	2,332	996
債 券	468,180	476,501	469,561	483,550	1,380	7,048	2,015	7,211	634	162
その他	83,652	112,633	83,674	114,789	22	2,155	913	2,340	891	185

注1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。また、時価評価されていない「その他有価証券」も含まれています。
注2.上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
注3.変動利付国債の時価については、平成20年度末より、合理的に算定された価額をもって貸借対照表計上額としております。これにより、市場価格をもって貸借対照表価額とした場合に比べ、債券はそれぞれ1.329百万円(平成21年3月末)、1.299百万円(平成22年3月末)増加しております。

満期保有目的の債券、子会社株式に係る貸借対照表計上額及び差額は以下のとおりです。(単位/百万円)

	貸借対照表計上額		差 額		うち益		うち損	
	平成21年3月末	平成22年3月末	平成21年3月末	平成22年3月末	平成21年3月末	平成22年3月末	平成21年3月末	平成22年3月末
満期保有目的の債券	58,440	60,343	△ 977	733	305	1,063	1,283	329
子会社株式	1,653	1,653	—	—	—	—	—	—

注1.「差額」は、貸借対照表計上額と時価(期末日における市場価格等)との差額です。
注2.変動利付国債の時価については、平成20年度末より、合理的に算定された価額をもって評価しております。これにより、市場価格をもって評価した場合に比べ、差額はそれぞれ152百万円(平成21年3月末)、153百万円(平成22年3月末)増加しております。

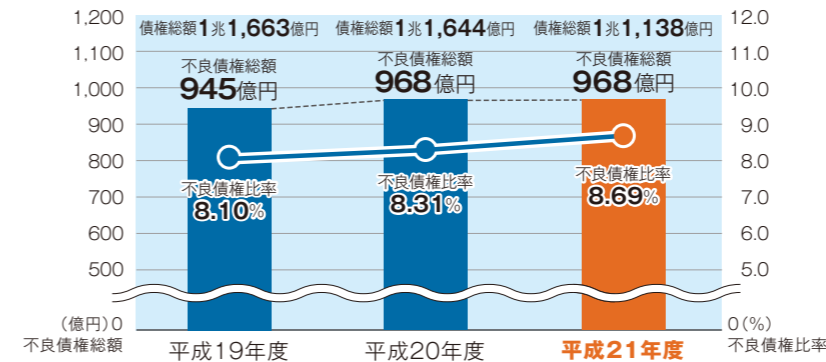
◆不良債権

不良債権比率は8.69%です。

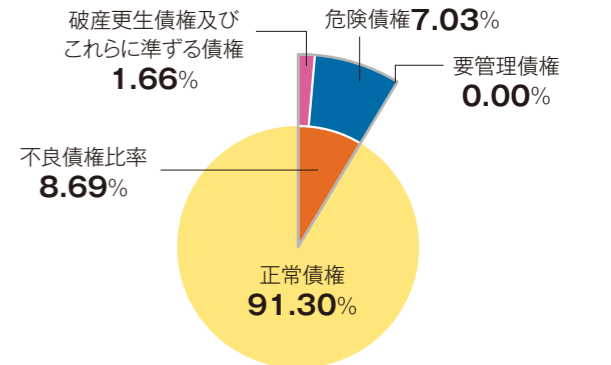
金融再生法開示債権のうち正常債権を除く額は、968億円となりました。

金融再生法開示債権のうち正常債権を除く額は、前期と横這いの968億円でしたが、景気の低迷による資金需要の減退などによる貸出金の減少もあり不良債権比率は8.69%となりました。たましんの目指す不良債権処理とは、お客さまの業況改善です。厳しい状況下でも前向きに事業に取り組むお客さまの悩みや課題を共有し、解決することで、業況改善のお手伝いをいたします。今後も、金融面・非金融面と幅広い支援に取り組んでまいります。

●不良債権の推移(金融再生法における開示債権)



●金融再生法開示債権の区分別割合(平成21年度)

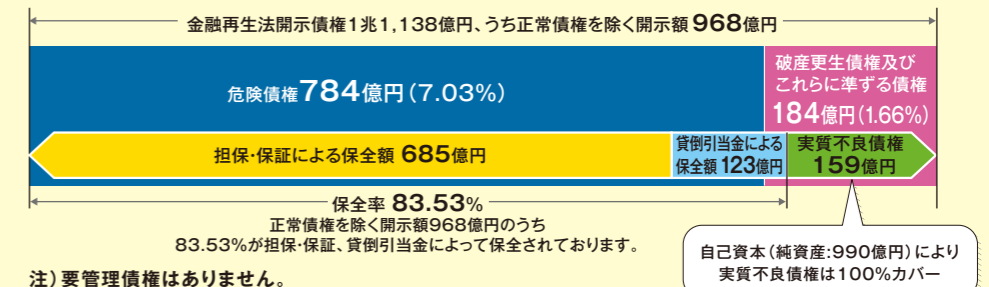


今期のポイント

●金融再生法開示債権と同債権に対する保全状況(平成21年度)

不良債権は、しっかりと保全されています。

正常債権を除く開示額968億円のうち、83.53%が担保・保証、貸倒引当金により保全されています。残りの約17%にあたる159億円は、自己資本(純資産990億円)により、100%カバーされています。



◆自己資本比率

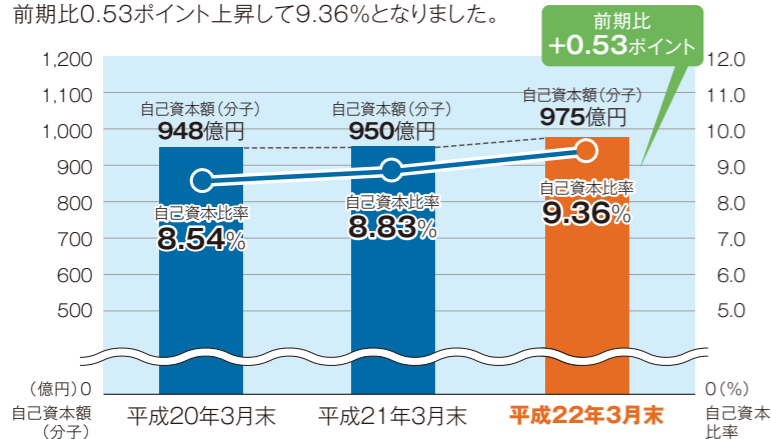
自己資本比率は、9.36%となりました。

たましんの自己資本比率に対する考え方は、高さのみを求めているのではなく地域で果たす役割を第一に考え、リスクの高

い資産(貸出金)=分母を減らすのではなく、自己資本(利益)=分子を増やすことで、経営の健全性向上を目指しています。

●自己資本比率の推移

「リスク・アセット等」(分母)の減少及び当期純利益の内部留保等により前期比0.53ポイント上昇して9.36%となりました。



■自己資本額の内訳 (平成21年度・単位/百万円)

自己資本額(分子)		97,507
基本的項目		90,450
普通出資金	18,671	
優先出資金	5,350	
資本準備金	766	
利益準備金	19,730 ※1	
特別積立金	45,500 ※2	
次期繰越金	433	
処分未済持分(△)	1	
その他有価証券の評価差損(△)	—	
補完的項目		7,056
土地再評価差額金相当額	2,213 ※3	
一般貸倒引当金	4,843	
補完的項目不算入額(△)	—	

※1 利益準備金は、21年度剰余金処分中の460百万円を加算した後の金額です。
 ※2 特別積立金は、21年度剰余金処分中の3,000百万円を加算した後の金額です。
 ※3 土地再評価差額金相当額は、土地の再評価額と再評価直前の帳簿価額との差額の45%相当額です。

■資産等の項目 (平成21年度・単位/百万円)

項目	資産の額等	信用リスク・アセット等の額
リスク・アセット等計	2,377,822	1,041,142
資産(オン・バランス)項目	2,320,590	942,790
現金	25,368	—
政府・中央銀行向け等	428,987	9,069
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	690,611	138,907
法人等向け	282,965	238,584
中小企業等向け及び個人向け	332,161	230,008
抵当権付住宅ローン	91,264	31,090
その他	469,230	295,129
オフ・バランス取引等項目	57,231	22,019
代理貸付等の保証	15,191	13,704
その他	42,040	8,314
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	—	76,332

リスク・アセットとは、貸出金や有価証券などの資産額にリスク・ウェイトを乗じて再評価した金額です。

解説

自己資本比率の算出方法

自己資本比率とは、金融機関の健全性・安全性をみる重要な評価基準のひとつで、リスクのある資産(リスク・アセット)に対して自己資本がどのくらいあるのかを示す指標です。

国内業務のみを取り扱う信用金庫は4%以上の自己資本比率を維持することが求められています。

算出式分子の基本的項目(Tier1)とは、出資金や諸準備金、積立金などが該当します。同じく分子の補完的項目(Tier2)とは、一般貸倒引当金(一部不算入額があります)と土地の再評価差額の一部などが該当します。

分母の信用リスクの計測手法は標準的手法、オペレーショナル・リスクの計測手法は基礎的手法を採用しています。

$$\frac{\text{(分子) 基本的項目(Tier1) + 補完的項目(Tier2) - 控除項目}}{\text{(分母) 信用リスク・アセットの額 + オペレーショナル・リスク相当額 \div 8\%}} \geq 4\%$$

(標準的手法の一例)

- 中小企業・個人向け貸出は小口分散によるリスク軽減効果を考慮してリスク・ウェイトを軽減
- 抵当権付住宅ローンは要件を満たせばリスク・ウェイトを軽減
- 延滞債権は引当率に応じてリスク・ウェイトを加減

(基礎的手法の算定方法)

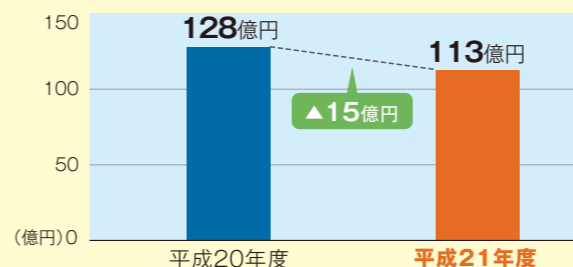
$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$$



今期のポイント

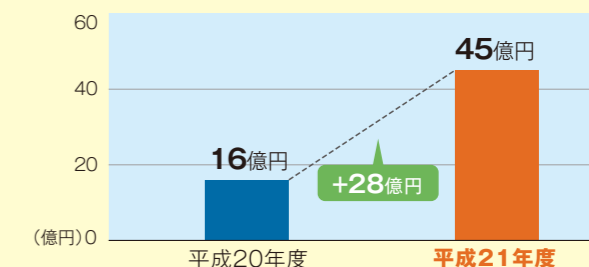
●コア業務純益の比較

平成21年度はリーマンショックの影響が残るなか、先行きの不透明感からお客さまの資金需要が減退しました。それに伴う貸出金利息の減少を主因として、コア業務純益は前期比15億円減少の113億円となりましたが、引き続き安定した収益を確保することができました。



●当期純利益の比較

平成21年度は、年度当初リーマンショックの影響が続いたものの、株式市場については年度半ばから持ち直し、それに伴い株式の売却損が前期に比べ大幅に減少したことを主因とし、当期純利益は前期比28億円増加の45億円となり、一昨年と同水準まで回復しました。



※単位未満切り捨て表示のため、前年比が表示数値による算出値と一致しない場合があります。

貸借対照表

◆第77期 貸借対照表

●第77期 貸借対照表

科目	金額
現金	25,368
預け金	473,927
コールローン	15,000
買入金銭債権	122
金銭の信託	3,500
商品有価証券	128
商品国債	6
商品地方債	122
有価証券	671,553
国債	118,113
地方債	71,773
社債	348,407
株式	12,870
その他の証券	120,388
貸出金	1,097,224
割引手形	13,549
手形貸付	29,221
証書貸付	1,037,596
当座貸越	16,856
外国為替	463
外国他店預け	391
買入外国為替	68
取立外国為替	3
その他資産	31,668
未決済為替貸	354
信金中金出資金	7,265
前払費用	11
未収収益	6,840
金融派生商品	5
その他の資産	17,190
有形固定資産	34,707
建物	6,269
土地	23,239
建設仮勘定	316
その他の有形固定資産	4,882
無形固定資産	1,809
ソフトウェア	1,212
その他の無形固定資産	597
繰延税金資産	3,769
債務保証見返	15,264
貸倒引当金	△ 17,285
(うち個別貸倒引当金)	(△ 12,442)
資産の部合計	2,357,221

平成22年3月31日現在(単位/百万円)

科目	金額
預金積金	2,158,092
当座預金	39,947
普通預金	828,903
貯蓄預金	12,226
通知預金	966
定期預金	1,123,467
定期積金	127,625
その他の預金	24,956
コールマネー	69,739
外国為替	14
売渡外国為替	14
その他負債	6,911
未決済為替借	487
未払費用	2,065
給付補てん備金	463
未払法人税等	43
前受収益	214
払戻未済金	77
職員預り金	617
金融派生商品	4
その他の負債	2,938
賞与引当金	1,129
退職給付引当金	1,996
役員退職慰労引当金	368
睡眠預金払戻損失引当金	505
偶発損失引当金	339
再評価に係る繰延税金負債	3,813
債務保証	15,264
負債の部合計	2,258,176
出資金	24,021
普通出資金	18,671
優先出資金	5,350
資本剰余金	766
資本準備金	766
利益剰余金	66,657
利益準備金	19,270
その他利益剰余金	47,387
特別積立金	42,500
(優先出資消却積立金)	(4,000)
当期末処分剰余金	4,887
処分未済持分	△ 1
会員勘定合計	91,444
その他有価証券評価差額金	6,494
土地再評価差額金	1,105
評価・換算差額等合計	7,600
純資産の部合計	99,044
負債及び純資産の部合計	2,357,221

損益計算書・剰余金処分

◆第77期 損益計算書・第77期 剰余金処分

●第77期 損益計算書

科目	金額
経常収益	48,253,015
資金運用収益	42,242,383
貸出金利息	29,546,292
預け金利息	3,858,713
コールローン利息	1,693
有価証券利息配当金	8,566,113
その他の受入利息	269,569
役員取引等収益	3,554,184
受入為替手数料	1,953,858
その他の役員収益	1,600,326
その他業務収益	1,073,962
国債等債券売却益	771,750
国債等債券償還益	57,564
その他の業務収益	244,646
その他経常収益	1,382,485
株式等売却益	138,521
金銭の信託運用益	36,293
その他の経常収益	1,207,670
経常費用	41,408,141
資金調達費用	3,631,401
預金利息	3,315,795
給付補てん備金繰入額	281,851
コールマネー利息	30,708
その他の支払利息	3,046
役員取引等費用	1,682,948
支払為替手数料	627,424
その他の役員費用	1,055,523
その他業務費用	443,234
外国為替売買損	178,151
商品有価証券売買損	332
国債等債券売却損	112,269
国債等債券償還損	91,640
その他の業務費用	60,841
経費	29,233,278
人件費	16,358,248

●第77期 剰余金処分

科目	金額
当期末処分剰余金	4,887,730,416
前期繰越金	363,503,890
当期純利益	4,524,226,526
剰余金処分額	4,453,761,742
利益準備金	460,000,000
普通出資に対する配当金(年 4.0%)	746,861,742

平成21年4月1日～平成22年3月31日(単位/千円)

科目	金額
物件費	12,366,475
税金	508,554
その他経常費用	6,417,278
貸倒引当金繰入額	4,897,877
貸出金償却	523,023
株式等売却損	187,343
株式等償却	72,268
その他資産償却	16,402
その他の経常費用	720,362
経常利益	6,844,874
特別利益	—
特別損失	443,858
固定資産処分損	391,773
減損損失	5,449
その他の特別損失	46,635
税引前当期純利益	6,401,015
法人税、住民税及び事業税	36,591
法人税等調整額	1,840,197
法人税等合計	1,876,789
当期純利益	4,524,226
前期繰越金	363,503
当期末処分剰余金	4,887,730

(注) 1.記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
 2.子会社との取引による収益総額 52,588千円
 子会社との取引による費用総額 1,955,506千円
 3.出資1口当たり当期純利益金額 11円41銭
 4.その他の経常収益には、償却債権取立益921,442千円を含んでおります。
 5.その他の特別損失は、城北信用金庫小金井支店の譲受に伴う費用46,635千円です。
 6.当期において、以下の資産について、回収可能価額と帳簿価額との差額を減損損失として特別損失に計上しております。

地域	主な用途	種類	減損損失
東久留米市	営業用店舗	建物等	5,449千円
合計			5,449千円

回収可能価額は正味売却価額によっており、正味売却価額は不動産鑑定評価等から処分費用見込額を控除して算出しております。

平成21年4月1日～平成22年3月31日(単位/円)

科目	金額
優先出資に対する配当金(年 5.8%)	43,500,000
優先出資に対する配当金(年 4.6%)	23,000,000
優先出資に対する配当金(年 4.4%)	180,400,000
特別積立金	3,000,000,000
(優先出資消却積立金)	(2,000,000,000)
(次期システム投資積立金)	(1,000,000,000)
次期繰越金	433,968,674

◆内部統制方針について・内部監査について・コンプライアンス態勢について

◆個人情報保護について・理事会・金融庁検査・日本銀行考査・監事監査・会計監査人監査・お客さまからの現金や通帳・証書等のお預かりについて

安心してお取り引きいただける態勢を強化しています。

たましんの経営理念は「お客さまの幸せづくり」です。事業を営む方にとっても、個人の方にとっても、多摩地域で一番身近優先することは、たましんの利益ではなく、お客さまにとっての結果であり、お客さまの幸せです。誰もが安心して暮らしてい

な金融機関でなければならないと考えています。ける地域をしっかりと支えていけるよう、たましんの経営管理を強化しています。

●内部統制方針について

内部管理態勢の機能性、整備の継続性を確保するため「内部統制方針」を定めています。本方針は、理事会が決定する重要な業務執行について整備すべき体制及び事項を明確にするとともに、充実した内部統制管理の確立のため、コンプライアンス統括部署、統合的リスク管理部署、及び業務運営部門から独立した内部監査部署並びに監事が担う役割について定めています。

●内部監査について

内部監査とは、内部統制の主要な目的（経営の健全性向上、リスク管理の適切性、業務運営の適切性と有効性、財務報告の信頼性、資産の健全性の維持、法令や社内規定の遵守等）の達成状況を検証・評価するプロセスです。たましんでは、業務運営部門（子会社を含む）から独立した立場の監査室が、業務運営部門の事務処理状況、内部管理態勢等の適切性、有効性を検証・評価し、監査結果を理事会へ報告するとともに、関連部署に対して問題点の改善等の提言や改善状況の確認を行っております。

●個人情報保護について

金融機関は、コンピュータ管理された大量の個人情報を保有しております。それが流出すると、お客さまに多大な迷惑をお掛けすることになります。たましんでは、個人情報の適切な保護と利用を図るための基本方針として「個人情報保護宣言（プライバシーポリシー）」を策定し、公表しております。また、お客さまの個人情報は、利用目的を特定した上で利用しております。さらに、個人情報の取扱いに関する規程・要領等を整備し、職員研修を実施するとともに、遵守状況についての監査を行い、お客さまの個人情報が漏えいや毀損することを防ぐために万全を期しております。

●金融庁検査・日本銀行考査

平成21年度は、金融庁による定例検査及び日本銀行による定例考査は実施されませんでした。

●監事監査

信用金庫法第35条の7において準用する会社法第381条第1項及び信用金庫法第38条の2第3項に基づき監査を行いました。なお、信用金庫法第32条第5項に規定する監事を選任しております。（員外監事）また、監事は定期的に監事会を開催し、監査体制の充実を図りました。

●コンプライアンス態勢について

コンプライアンス態勢の整備	コンプライアンスの運営態勢
信用金庫は、協同組織の金融機関として、地域の中小企業や個人の皆さまの金融の円滑化を通じて、地域社会の繁栄に奉仕することを基本理念としております。たましんでは、地域とともに歩む金融機関として、地域のお客さまから真に信頼されるためには、法令や法令に基づく各種ルール及び社会規範を遵守することは当然の責務であるとの認識に立ち、コンプライアンス（法令等遵守）態勢の整備に努めております。	コンプライアンスの運営態勢としては、リスク管理委員会を設置し、毎月委員会を開催してコンプライアンスに関する重要事項を審議しております。法務相談室をコンプライアンスを統括する部門と位置付け、金庫全体のコンプライアンス態勢の整備に努めております。また、本部各部室及び営業店にはコンプライアンス担当者を配置し、コンプライアンスの徹底に努めております。
コンプライアンス・マニュアル	コンプライアンス・プログラム
企業倫理及び行動規範を制定するとともに、それらと法令等各種ルールの解説を記載した「コンプライアンス・マニュアル」を全職員に配布し、その内容の周知徹底を継続して図っております。	年度ごとにコンプライアンスに対する取組計画として「コンプライアンス・プログラム」を策定し、これに基づいてコンプライアンスの定着化を図るための各種研修、及びコンプライアンス環境等の整備を図るための諸施策を実施しております。

●理事会

平成21年度の理事会は、平成21年4月28日を第1回として以後12回開催し、当金庫の経営上の基本的事項を決定しました。また、内部管理態勢については、その実効性を高めるための様々な施策を実施しました。

●会計監査人監査

信用金庫法第38条の3において準用する会社法第329条第1項により選任した「太陽ASG有限責任監査法人」により、財務全般についての会計監査を受けました。

お客さまからの現金や通帳・証書等のお預かりについて

当金庫では、職員がお客さまのご自宅や職場等にて現金、預金通帳・証書・払戻請求書等をお預かりする際には、以下のとおり当金庫所定の「受取書」「依頼控票」をお渡しいたしますので、必ずお受け取りいただきますようお願い申し上げます。

- 当金庫所定の「受取書」「依頼控票」以外のお預かり書（名刺やメモ等）をお渡しすることはありません。
- お渡しいたしました「受取書」「依頼控票」は、現金、預金通帳・証書・払戻請求書等をお預かりしたことを証明する大切な書類となりますので、お受け取りの際には必ず内容をご確認のうえ、所定の手続きが完了するまで保管願います。

【お問合せ窓口】

現金、預金通帳等に関するご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。
 ・多摩信用金庫 法務相談室 0120-456-763 [平日(12/31～1/3を除く)9時～17時]
 ・多摩信用金庫 ホームページ <http://www.tamashin.jp> ご意見・お問合せまで

たましんプロフィール・役員一覧・連結される子会社

◆たましんプロフィール・役員一覧・連結される子会社

●たましんプロフィール

平成22年3月末現在

創 立	昭和8年12月26日 有限責任立川信用組合として設立 平成18年1月10日 合併により多摩信用金庫	本 店	東京都立川市曙町2丁目8番28号
純資産	990億円	店舗数	本支店……75／出張所……4 店外キャッシュサービスコーナー……56
普通出資	186億円	役員数(パート含む)	2,140名
優先出資	53億円	職員数	1,883名(男性1,199名、女性684名)

●役員一覧

平成22年3月末現在

理事長(代表理事) 佐藤 浩二	常勤理事 石垣 圭一	理事 秋本 誠一	常勤監事 山口 文男
専務理事(代表理事) 内田 一郎	常勤理事 加幡 英雄	理事 大久保 力	監 事 安藤 謙治
常務理事(代表理事) 小笠原 治	常勤理事 鈴木 邦治	理事 岩崎 春伸	監 事 村越 政雄
常務理事(代表理事) 古瀬 逸夫	常勤理事 小俣 勝俊	理事 関塚 時紀生	監 事 寺井 一弘 (員外)
常務理事(代表理事) 上岡 正一	常勤理事 福田 博之		監事(員外)は、 信用金庫法第32条第5項に 規定する監事です。
常務理事(代表理事) 八木 敏郎	常勤理事 鈴木 忠		

●連結される子会社

平成22年3月末現在

たましんビジネスサービス株式会社	たましんリース株式会社	多摩保証株式会社
設立/昭和41年3月24日 所在地/〒190-0012 立川市曙町2-38-5 TEL/042-527-3008 FAX/042-522-7893 資本金/4千万円 当金庫出資比率/100% 子会社出資比率/0% 主な業務内容/ ●たましんの各種集中事務の処理代行 ●たましんのATMの運用管理 ●現金精査、定型的な集配金業務 ●メールカーの運行 ●人材派遣 ●事務用品、書籍等の販売 ●たましんの駐車場、福利厚生施設の管理 常勤役員/代表取締役 倉保 安男 専務取締役 西川 貴 取締役 佐藤 三男	設立/昭和58年6月15日 所在地/〒190-0012 立川市曙町2-38-5 TEL/042-528-1131 FAX/042-528-1892 資本金/5千万円 当金庫出資比率/74.8% 子会社出資比率/0% 主な業務内容/ ●生産用、医療用、事務用、その他営業用に供する車両、機械、 器具、設備などの動産リース ●電子計算機ソフトウェアの販売および賃貸 常勤役員/代表取締役 福田 孝 常務取締役 羽村 孝之	設立/昭和60年6月3日 所在地/〒190-0012 立川市曙町2-38-5 TEL/042-524-6311 FAX/042-529-6063 資本金/1千万円 当金庫出資比率/51% 子会社出資比率/49% 主な業務内容/ ●住宅金融に係る信用保証業務および信用調査業務 常勤役員/代表取締役 鈴木 伸治

店舗ネットワーク

◆店舗一覧

●店舗一覧

平成22年5月31日現在

店舗名	住 所	電 話	店舗名	住 所	電 話
立川 本店	立川市曙町2-8-28	042-526-7700	多摩 永山支店	多摩市永山1-5 ヘルプ永山	042-356-2511
立川ターミナルビル出張所	立川市曙町2-1-1ルミネ立川B-101	042-527-6911	国立 国立支店	国立市中1-9-52	042-574-1111
南口支店	立川市柴崎町3-5-22	042-528-2211	東大和 東大和支店	東大和市南街5-65-2	042-564-7111
東立川支店	立川市羽衣町1-19-6	042-524-0611	武蔵村山 村山支店	武蔵村山市学園3-101-1	042-565-9111
錦町支店	立川市錦町3-6-9	042-528-0511	武蔵村山 イオンモールむさし村山ミュージアム出張所	武蔵村山市榎1-1-3-1002	042-562-5991
栄町支店	立川市栄町2-66-1	042-536-9711	武蔵村山 残堀支店	武蔵村山市残堀1-33-1	042-569-2111
砂川支店	立川市砂川町4-2-3	042-535-4411	日野 日野支店	日野市日野本町4-3-6	042-581-7311
富士見町支店	立川市富士見町4-9-22	042-528-1741	日野 南平支店	日野市南平7-17-72	042-593-2111
幸町支店	立川市幸町1-25-15	042-535-5311	日野 豊田支店	日野市豊田3-41-7	042-586-6111
武蔵野 成蹊学園前支店	武蔵野市中町3-29-12	0422-54-3321	日野 豊田北口支店	日野市多摩平2-3-2	042-581-2123
武蔵野 武蔵境南口支店	武蔵野市境南町2-9-3	0422-32-2221	日野 平山支店	日野市平山5-13-2	042-593-1611
武蔵野 西出張所	武蔵野市境南町3-15-23	0422-33-2111	日野 高幡不動支店	日野市高幡1008-3	042-591-8911
武蔵野 武蔵野支店	武蔵野市西久保1-6-27	0422-54-1211	八王子 八王子駅前支店	八王子市市安町1-3-10	042-644-5111
武蔵野 吉祥寺支店	武蔵野市吉祥寺本町1-10-5	0422-21-3741	八王子 西八王子支店	八王子市千人町3-2-16	042-664-6611
武蔵野 境支店	武蔵野市境2-11-23	0422-54-1331	八王子 宇津木支店	八王子市石川町94-6	042-643-5411
三鷹 三鷹下連雀支店	三鷹市下連雀1-9-15	0422-44-2121	八王子 宇津木台出張所	八王子市久保山町1-10 宇津木台ショールディングプラザ2F	042-696-0411
三鷹 三鷹駅前支店	三鷹市下連雀3-26-9	0422-47-7385	八王子 京王八王子支店	八王子市明神町2-27-6	042-648-5611
西東京 田無支店	西東京市田無町4-25-5	042-463-1121	八王子 八王子四谷支店	八王子市大楽寺町510-1	042-621-3721
西東京 ひばりが丘支店	西東京市ひばりが丘北3-4-7	042-423-3111	八王子 中野山王支店	八王子市中野山王1-3-1	042-621-3111
調布 調布支店	調布市国領町1-9-8	042-482-6121	八王子 八王子中央支店	八王子市八日町1-16*	042-623-0111
調布 調布北口支店	調布市布田1-45-6	042-482-8176	八王子 八木町支店	八王子市八木町4-1	042-623-3311
小金井 小金井支店	小金井市本町2-5-4	042-385-1111	八王子 高尾支店	八王子市高尾町1608	042-661-3143
小金井 小金井南口支店	小金井市中町4-14-7	042-384-5111	八王子 中野支店	八王子市中野上町4-35-17	042-626-5211
東久留米 東久留米支店	東久留米市本町1-3-1	042-477-2111	八王子 大和田支店	八王子市大和田町5-3-24	042-646-1021
国分寺 国分寺支店	国分寺市本町3-11-12	042-321-4141	八王子 片倉支店	八王子市片倉町633-3	042-636-8511
国分寺 西国分寺支店	国分寺市泉町3-17-10	042-326-1511	八王子 めじろ台支店	八王子市めじろ台3-1-1	042-666-4511
国分寺 国分寺南口支店	国分寺市南町3-19-8	042-322-9111	八王子 高倉支店	八王子市高倉町51-22	042-648-6211
国分寺 恋ヶ窪支店	国分寺市戸倉1-3-4	042-328-3011	八王子 恩方支店	八王子市西寺方町72-1	042-652-1311
小平 小平支店	小平市小川西町4-14-16	042-341-3131	八王子 散田支店	八王子市散田町3-9-15	042-666-5311
小平 学園東支店	小平市学園東町2-12-15	042-345-5511	昭島 昭島支店	昭島市玉川町4-5-3	042-545-5111
小平 一橋学園支店	小平市学園西町2-13-33	042-346-2111	昭島 拝島支店	昭島市松原町4-13-20	042-545-4111
小平 花小金井支店	小平市花小金井南町1-13-19	042-465-2233	昭島 郷地支店	昭島市郷地町2-32-16	042-546-4111
東村山 東村山支店	東村山市野口町1-11-17	042-396-5551	昭島 昭島駅前支店	昭島市昭和町2-5-15	042-546-4311
東村山 秋津支店	東村山市秋津町5-35-23	042-395-7221	福生 福生支店	福生市本町24	042-553-6111
府中 府中支店	府中市宮西町1-5-1	042-366-8211	瑞穂 瑞穂支店	西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎239-2	042-556-4111
府中 中河原支店	府中市住吉町5-2-1	042-366-3311	羽村 羽村支店	羽村市五ノ神1-2-6	042-555-3111
府中 北府中支店	府中市新町1-65-1	042-367-1311	あきる野 秋川支店	あきる野市野辺539-1	042-559-3111
府中 北山支店	府中市北山町2-22-7	042-573-4711	あきる野 あきる野支店	あきる野市秋川2-10-3	042-550-3111
府中 東府中支店	府中市清水が丘3-23-20	042-367-5211	相模原 相模原支店	相模原市中央区相模原5-10-10	042-756-7111
多摩 桜ヶ丘支店	多摩市一ノ宮3-1-5	042-374-2781			

※建替のため、仮店舗住所を記載しています。